

会議顛末書

						記 録 者	主 幹 岡野智倫		
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
	/								
件 名	令和6年度第1回行政経営推進会議								
年 月 日	令和6年7月23日（火）								
時 間	午後1時30分～午後3時10分								
場 所	庁議室								
欠 席 者	藤ヶ崎福祉部次長、佐々木健康スポーツ部次長								
内 容	<p>【付議事項】</p> <p>1 令和5年度「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に係る進捗状況評価について</p> <p style="padding-left: 2em;">資料に基づき、企画課より説明</p> <p>≪主な意見・質疑≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施策の KPI（重要業績成果指標）としている指標の多くは、まちづくり市民アンケートの結果を用いているが、今回実施したアンケートの回答率などを伺いたい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 無作為に抽出した市内在住 18 歳以上の 4,000 人を対象にアンケートを送付し、1,499 人からの回答があった。対象者の約 37%が回答しており、前回実施した令和 3 年度の約 38%と比較して同水準といえる。 また、今回のアンケートでは、郵送による回答のほか、Web でも回答ができるようにした。 → アンケートの結果を踏まえ、全体的な KPI の増減についてどのように捉えているか。 ⇒ 分野によって偏りはあるが、「分からない」という回答が前回より多い傾向にあり、その結果 KPI の低下につながっているのではないかと考えている。 ・ KPI の増減を重視して施策を評価することに突出しすぎず、取り組んでいる事業の状況などを加味した評価としてもいいのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 前最上位計画での施策評価は、目標の達成状況のほか、事業展開や施策展開の状況も加味して評価を行っており、客観性に欠けてしまう面があった。 そのため、現最上位計画での施策評価は KPI を重視することについて、昨年度の行政経営評価委員会において説明し、評価方法を決定した。それに則り評価を行ったところであるが、行政経営推進本部、行政経営評価委員会において同様の意見が多く出た場合には、見直しを検討する余地はあると考えている。 ・ KPI の実績値をどのような観点から評価に反映させているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 基本的には、KPI の目標達成に向けた課題の有無を勘案して A、B、C の評価に反映させている。 また、まちづくり市民アンケートとは別に実施している個別のアンケートは、満足度が高くなる傾向があることから、そういった偏りを考慮した上で評価に反映させている。 								

- ・ 政策の柱1、施策1の主要事業「産前産後家事支援事業」について、指標の目標値に比べて実績値が非常に低い数値となっている。利用者の少ない事業ではなく、より利用者の多い事業に予算を充てることを考えてもいいのではないか。

⇒ 利用意欲はあるものの、他者が家を訪れることに対する抵抗感などの要因により、実際の利用につながっていないと思われるため、利用にあたっての懸念を払しょくさせる工夫が必要である。
- ・ 政策の柱1、施策3の主要事業「若者結婚新生活応援事業」について、対象を30歳未満としているが、年齢で区切らずに補助することを検討してはどうか。

⇒ 30歳未満を対象とした「若者結婚新生活応援事業」、35歳未満を対象とした「若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業」、40歳未満を対象とした「若者・子育て世代住宅取得支援事業」という結婚から子育てまでの期間を切れ目なく支援する制度設計としているため、各事業において対象年齢を設定している。
- ・ 例えば、政策の柱4、施策2の施設管理に関する主要事業について、指標が利用者数となっているが、施設の整備に対する指標は、施設の充実度などの方が適しているのではないか。

⇒ 指定管理者は、毎年アンケートを実施していることから、当該アンケートに項目が無い場合には充実度の項目を追加して指標とすることは可能と考えるが、施設によりアンケートに答える方の母数が異なってしまうことも想定される。そういった点を考慮して来年度の指標とするか検討する。
- ・ 政策の柱4、施策2において「生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度」をKPIの1つとして設定しているが、この施策の主要事業としている中央図書館や文化会館の管理などで判断するのは難しいのではないか。コミュニティセンターなどで行っている内容も示して聞いた方が良いのではないか。

⇒ このKPIは、まちづくり市民アンケートをもとにしてるが、アンケートでは主要事業の実施状況などを示さずに「生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度」について質問しているため、回答した方は全体としての視点で判断していると考えられる。

意見のとおり、このKPIは多様な視点からの判断となる。コミュニティセンターなどでも関連事業に取り組んでいることが分かるよう、今後の施策展開の考え方に取り入れられるかどうか検討をする。
- ・ 政策の柱4、施策3の評価の理由において、小中学校における多様性尊重に関する記載があるが、この施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージを考えると、市民全体を捉えた記載とした方がいいのではないか。

⇒ この施策のKPIの1つとして、「普段から自分の気持ちを分かろうとしてくれる友人がいる児童生徒の割合」を設定していることから、評価の理由に小中学校に関する説明を入れたが、今後の施策展開の考え方においては広く市民を意識したものとしている。
- ・ 政策の柱5、施策2の主要事業「消防水利整備事業」について、指標を「防火水槽修繕箇所数」、「消火栓設置箇所数」の2つとしているが、例えば「消防水利の確保数」のような名称で1つに統一する方が分かりやすいのではないかと考える。
- ・ 政策の柱5、施策3の評価Cについて、KPIの減少により評価がCではあるが、防犯カメラの設置など積極的に取組を実施している側面もあり、評価の理由に「全国的に特殊詐欺など発生している」とあるように、KPIの減少は社会的要因が作用しているものと考えられる。

	<ul style="list-style-type: none"> 政策の柱6、施策1・2について、KPIの減少により評価がCではあるが、森林公園のリニューアルや公共交通の再編など、現在力を入れて取り組んでいる事業の成果が表れてくれば、数値の上昇が期待できる分野であると考えている。 政策の柱8、施策7のKPIの1つである「市税等の収納率」について、目標をベース値以上維持としているが、年度ごとの納税者や景気などに左右されてしまうのではないか。 ⇒ 目標設定については、過去3点の推移を調べ、分野に応じ、その平均値や最高値などを目標として設定している。質問のKPIについては、実績をもとに目標を設定した。 <p>【その他】</p> <p>特になし。</p>		
要措置事項			
情報公開	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">公開</div>	非公開（一部非公開を含む）とする理由 公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当） <div style="text-align: center;">年 月 日</div>